



患者さん 地域の皆さんとのコミュニケーション情報紙

済生みと

No. **41**
2021
January

特 集

当院の新型コロナウイルス感染症対策

新春のごあいさつ 病院長 生澤 義輔



写真 新型コロナウイルス感染症対応病棟の様子
(スタッフ入室前準備)



右の QR コードからアクセスし
当院のホームページをご覧ください



ごあいさつ

前を向いて進む

水戸済生会総合病院 院長 生澤 義輔



新年明けましておめでとうございます。
今年は穏やかな三が日でしたが、これまでのように
"お正月を家族でのんびり"とはいかなかった方も
多いのではないのでしょうか。

昨年は、中国武漢から発生した新型コロナウイルス感染症の影響で、世界中が混乱に陥った年となりました。我々の生活が一変してしまったと言っても過言ではないでしょう。とりわけ、密集・飲食による感染を回避するための厳しい行動制限は、会いたい人に会えないという辛さを多くの人々に味わわせる事となっています。また、ほとんどの病院で面会制限をしており、一度入院するとなかなか家族にも会えないという状況です。早くこの状態が解消されることを強く望みますが、密になることがこの新興感染症流行の元凶となることを考えれば、なかなか現在の状態から脱却することは難しいと言わざるを得ません。当院でも、外来や入院診療でもう少し皆様にご迷惑をおかけするかと思いますが、宜しくご理解いただきますようお願い致します。

ところで、この新興感染症については、陽性患者さんを受け入れている病院と受け入れていない病院がありますが、当院では第1波の時点から患者さんを受け入れておりました。当済生会には3つの目

標があり、そのうちの一つに「医療で生（いのち）を済（すく）う」という基本となる一項があります。この目標を掲げる公的病院の使命として、前を向いて進む決断をしました。

受け入れにあたっては、自主的に集まってくれた職員を中心として運用体制を整えつつ、個室病棟を新型コロナウイルス感染症病棟として対応可能な形に整備を進めました。スタッフは感染者への対応や感染防止の防護服着脱など診療対応への十分な訓練を経て治療にあたっております。

なお、昨年のゴールデンウィーク中にはマスコミの取材を受け、重症患者の治療を行う当院の状況が大きく報じられましたが、病院名は控えさせていただきました。一般の方が新型コロナウイルス感染症への恐怖感を強く持っていたことにより、受け入れ病院への受診控えが予想され、病院名を出すことの影響が大き過ぎると思われたからです。

その後、病院での密を避けるための方策として、再診の方には電話受診も取り入れるなど外来を減らし、入館時の検温や面会制限を実施するなどして感染対策に努めておりましたが、昨年8月には紛れ込みによる院内感染が発生してしまいました。その結果として、救急外来の停止、予定手術の中止をは



年頭に当たり、職員と共に、
当院の使命と、患者さん本位の
診療実践を改めて確認しま
した。

じめ、一時的ではありましたが十分な医療の提供が出来なくなってしまったことは大変申し訳なく思っております。この苦い経験を貴重な糧として、今後の感染対策に万全を期してまいりたいと考えております。

なお、その際、当院に対しては厳しいご意見も寄せられましたが、ほとんどの方からはお叱りよりも励ましの言葉を頂いたのは本当に有難いことでした。また、同時期に、職員の子供たちへの保育拒否なども一時的にはありましたが、行政に素早く対応していただいたため被害は最小限で済んでおります。改めて、ご支援に感謝の意を表する次第です。

現在我々は、第3波の真ただ中におりますが、職員たちはますます慎重に、かつ勇敢にこの難局に立ち向かってきております。未だ新型コロナウイルス感染症に対する治療法は確立されておませんが、すでにワクチンは開発され、日本でも2月末の投与開始を想定している旨、政府が発表しております。これらにより、徐々に現在の閉塞感が解消されていくことを切に期待します。当院としても、皆様に安心して受診していただけるよう、引き続き感染対策をしっかりと行って参ります。

さて、近時の当院での診療体制の拡充について、

いくつか紹介させていただきます。

まず、循環器センターではハイブリッドカテーテル手術室を用いて侵襲の小さいTAVIを開始しておりましたが、さらにインペラという新しい治療法が加わっております。また、消化器外科ではほとんどの手術を腹腔鏡という内視鏡を用いて行うようになり、やはり侵襲が小さいため入院期間が短く、合併症が少なくなりました。さらに、整形外科では人工股・膝関節の手術にナビゲーションシステムを導入し、設置についての精度が増すなどIT化が進んでおります。本年も、皆様のご要望にお応えできるよう、更なる診療体制の充実に努めて参ります。

このコロナ禍中でも、病院は超高齢社会に対応する変化を求められております。3次救急病院であり地域医療支援病院でもある当院は、地域の先生方との連携を強く保ちつつ、なお一層重症な方を中心に治療をする体制にシフトせざるをえません。また、教育病院として、研修医に経験を積ませながら高度な医療を提供していく必要があります。地域の皆様に愛される病院でありつつ、県央の中核病院として更に頼られ、かつ安心して受診していただけるよう努力していく所存です。本年もよろしくお願い致します。



患者さんや来院される方の感染を防ぐため、
病院出入口の制限や検温、手指消毒など徹
底した予防策への協力をお願いしています。



最新の治療法として着実に症例を重ねている
TAVI（カテーテルによる大動脈弁留置術）



整形外科に導入された人工股・膝関節手術用
ナビゲーションシステム

新型コロナウイルス感染症対策の現場から

医療安全管理部 感染制御室

■新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応を開始

2019年12月に中国で初めて報告された新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界中に拡がり、日本でも多くの感染者が確認されています。当院では2009年に経験した新型インフルエンザ（A/H1N1）対応を基に、2020年1月から陽性者受け入れを想定した準備に取り組みました。

■基本的な取り組み

COVID-19は新しく確認された「新興感染症」ですが、どのような感染症に対しても対応の基本は「標準予防策」です。

標準予防策の内容は、手指衛生（手洗いや手の消毒）や个人防护具（マスクや手袋、ガウン、ゴーグルなど）の使用、咳エチケット、環境管理など多岐に渡ります。院内では感染制御室および感染対策チーム（ICT）

委員会が中心となり、職員がより高いレベルで感染対策を実施できるよう、ラウンドによる手技の確認や教育を継続しています。

職員（委託職員や実習生を含む）に対しては健康調査強化と体調不良時の自宅療養の徹底をはかるとともに、院内での3密回避対策や感染症流行地域への出入り制限等を行っています。



職員用出入り口ではICTメンバーが手指衛生/マスク着用状況の確認を行うと同時に、指導を行っています。



■外来・病棟での対策

外来では一般診察室とは動線を別にした「緊急時感染症診察室（発熱外来）」を準備し、感染が疑われた方や感染症を疑う症状のある方をご案内しています。また、入院にあたっては専用の「感染症対応病棟」を整え、訓練を受けた職員を配置しています。

ワクチンや治療薬がなく、自身の感染リスクと隣り合わせの緊張感が続く中での診療や看護は、これまでにない経験です。様々な制限の中でもよりよいケアが提供できるようチーム医療に取り組んでいます。



臨床検査技師によるPCR検査



陽性患者さんの転院受け入れの様子

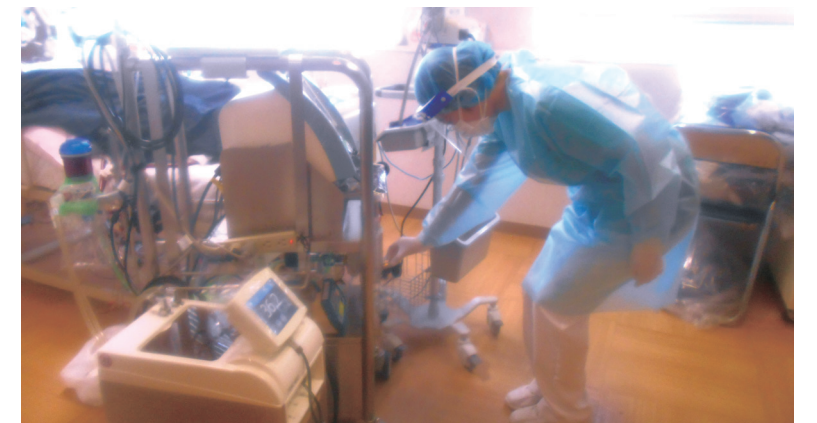
右上：新型コロナウイルス感染症対応の病棟で患者さんのケアに当たるスタッフ。

右下：ECMO（体外式膜型人工肺）を装着した患者さんへの対応。

■患者様・来院される皆様にご協力頂きたいこと

当院では、8月に一般病棟でクラスター発生が確認され、多くの患者さん、院外の皆様にご心配、ご迷惑をおかけしました。その経験を踏まえ、院内対応を見直すとともに、患者さんをはじめ当院にお越し頂くすべての方に手指消毒やマスク着用、咳エチケットや体温測定、体調の申告、少人数での来院等をお願いしております。

また、入院される患者さんには体調・行動歴の申告、入院時PCR検査、面会制限、カーテンによるベッド間の仕切り等にご協力頂いています。職員が行う感染対策には限りがあり、患者さん、病院にかかわるすべての方のご協力が必要となります。皆様には大変ご負担をおかけいたしますが、対策にご理解、ご協力



くださいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

■今後に向けて

発症前から感染力を持つ本感染症の特徴を踏まえ、感染持ち込みに警戒する日々が続いています。一方、市中では感染が拡がり、院内感染対策はより厳しさを増しています。感染を完全に防止することは難しい状

況にありますが、「院内に感染を持ち込まないこと」「もし持ち込みがあっても拡大を最小限に留め感染を早期に終息させること」を目標にし、病院機能を維持することで地域の皆様のお役に立てるよう、対策に努めて参ります。引き続き感染対策にご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

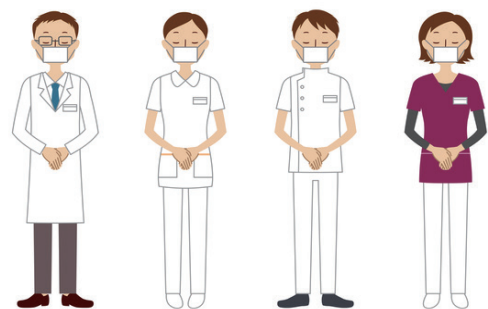


発熱外来では、原則として屋外（車内）での診察を行っています。



必要に応じて専門の診察室内で採血や胸部レントゲン検査等を実施します。発熱外来は、一般受診エリア、入院エリアとは完全に動線を分けて対応しています。

患者さん・来院される皆様へのお願い



新型コロナウイルス感染拡大に伴い、院内感染防止対策を強化しております。安心して診療を受けていただくため、ご理解ご協力をお願いいたします。

ご来院いただく前に

- 次の症状のある方は、受診をお控えいただく場合がありますので、来院前に電話でご相談ください。受診方法や受付時間等についてご案内させていただきます。

- ・ 来院されるまでの14日間に、新型コロナウイルス感染者との接触があった方。または、保健所から「濃厚接触者」と連絡を受けている方。
- ・ 受診当日を含め過去14日以内に次の症状のある（あった）方。
体温37.5度以上、咳、息苦しさ、だるさ、鼻水、喉の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、頭痛、味や匂いを感じにくい又は感じない



- 入院される患者さんには事前にPCR検査をお願いしています。入院患者さんに付き添われるご家族の方（当院が必要と認めた場合）に対しても患者さんと同様にPCR検査を実施させていただきます。

＊ 費用3,000円

検査日程等については別途ご案内させていただきます。

- 検査後、入院までの間は、特に手洗い、マスク着用等の感染対策にご協力いただくとともに、生活を共にする方以外との会食や人混みへのお出かけをお控えくださいますようお願いいたします。
- このPCR検査に関しては海外渡航用の陰性証明はできません。

受診・入院される当日は



- 受診日当日は、同伴される方も含め、ご自宅で必ず体温測定（検温）をお願いします。
- 入院される患者さん全員に入院時間診票をご記入いただきます。また、日帰りで手術や治療を受けられる方も同様としています。
- 必ずマスクを着用してご来院ください（マスクは、来院される方ご自身でご用意ください）
- 来院時の付添は、お一人をお願いします。
- 当日の体調異変、突発的な出来事など、来院が不可能になったとき、あるいは、来院を迷われるときなどには、ご遠慮無く当院にご連絡・ご相談ください。

ご来院の際の当院への出入りについて

当院へ入館される際の入り口を次の通り限定させていただいております。

正面玄関は午前8時に開きます。早めにお越しになるのはご遠慮ください。

開院時間：平日 正面玄関のみ午前8時～午後5時
救急入り口のみ午後5時～午後7時
土日祝日 救急入り口のみ午前8時～午後7時



院内での感染対策



- 来院時、入り口で手指消毒及び体温などの健康チェックをさせていただきます。発熱、咳、鼻水などの症状のある方には、別途受診をご案内する場合があります。
- 院内では、できるだけ来院された方同士が密集されることの無いようご注意ください。特に、受付窓口や支払い機の利用などではご注意ください。
- 必ずマスクを着用してください。着用しているものが汚損等により使用できなくなってしまった場合などには、院内の売店、自動販売機でお求めいただけます。
- 大声でのお話はご遠慮願います。
- 診察室に入る前には必ず手指消毒をお願いします。
- 院内各所に手指消毒剤を設置しておりますので、ご自由にご利用ください。

入院患者さんとの面会・お荷物の受け渡し



- 面会は、原則として全面禁止としております。ただし、診療上の必要により当院が来院を依頼した場合や荷物の受け渡しなど必要と認められる場合には、以下により来院が可能です。
 - ・ 平日 14:00～19:00
 - ・ 土曜・祝日 10:00～19:00
 ただし、やむを得ない場合（入退院手続き、手術、検査等当院からの要請）は除きます。
- 当院からの連絡で来院された方は、入り口の受付でその旨お申し出ください。係員が病棟に連絡確認した後、来訪先をご案内します。

外来受診フロア案内

総合健診センター

消化器診断センター

救命救急
センター

ER

心電図室

ICU
控室

臨床検査科

採尿室

放射線科

リハビリテーション科

総合周産期母子医療センター

歯科・
口腔外科

産婦人科

ペイン
クリニック

眼 科

★マークはそれぞれの受付です

⑬ ⑭ ⑮
内 科

★
形成
外科

皮膚科

★ 泌尿器科

心臓血管外科
循環器内科
内科 ⑫

★ 整形外科

脳神経
外科

小児特診

★ 小児科

内科 ⑪

内科 ⑩

内科 ⑨

内科 ⑧

内科 ⑦

耳鼻科

化学療法室

内科 ⑥

★ ①～⑤
内 科

休日・夜間入口

休日・夜間
受付

医療安全
(苦情)
相談室

ストマ
外来

★ 中央処置室

★マークはそれぞれの受付です

★ 中央採血室

★ 外 科

入 会

院 計

★ 総合受付

★マークはそれぞれの受付です

薬局

★ 総合案内

★ 患者支援センター

休憩
コーナー

休憩
コーナー
ドトール

駐車券受付↓

★ 出口

★ 正面玄関入口

★ 地域医療
連携室

★ コンビニ
ローソン